



◆事業者・農業者への物価高騰対策給付金5万円支給！

1. 原油価格・物価高騰による市民・事業者の負担軽減策

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中での支援策。新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金を充当します。

◆ 子育て世帯への支援（子どもたちの給食費に対する支援策）

保護者の皆さんの負担増を抑え、現在の給食費が維持できるようにします。

(1) 公立学校給食費補助（物価高の率を10%と見て積算しています。）

500円×人数×8ヶ月（R4年8月～R5年3月） 3,721万8千円

(2) 保育所運営事業：公立保育所給食費補助 ・公立学校と同じ補助、

500円×人数×8ヶ月 172万3千円

(3) 私立保育所等補助（こども園・小規模事業所も含む）

500円×人数×12ヶ月（令和4月から一年間） 2,340万6千円

(4) 私立幼稚園補助（久喜市は1園のみ）500円×人数×12ヶ月 48万円

◆ 事業者・農業者に支援します 申請が必要です

(1) 事業者・農業者物価高騰等対策給付金支給：5万円（運輸業は10万円）

令和4年1月～6月で、過去3年間の同月比で、売上が20%以上減少した事業者が対象。

※党議員団は、売り上げ額だけでなく、「利益の減少」も基準にすべきと提起しました）

(2) 農業者物価高騰等対策給付金支給：5万円 申請が必要です

令和3年分の農業所得を申告していること。

※これからの申告も可能です。赤字でも申告すれば対象となります。是非申告を。

(3) (4) 市内循環バス・デマンド交通運行事業・燃料費高騰分に応じた支援をします

2. 降雹被害を受けた農業者へ見舞金を支給へ

6月3日の降ひょうにより、農作物への被害が発生した農業者へ、営業を継続するための支援をします。一部クラウドファンディングを含む。

◇果樹5万円(38件分) 小麦3万円(1件分・市の方から連絡)

◇露地野菜1万円(256件分) (出荷をしている農家で 申請が必要です)

議会 6月
第2弾

党議員団の訴えと市民の声が市政を動かした

補正予算
第5号追加！

6月議会では、市長選直後での梅田市長の「所信表明」に対し、党議員団は代表質問、一般質問において物価高騰などから市民の暮らしを守り、支援をすすめるよう提案してきました。それらが実ったものです。

水道基本料金 この夏 2か月分免除へ！



実施時期は・8月検針9月請求（6、7月分）
・9月検針10月請求（7、8月分）

周知は・・・検針表に「免除～」表示されます。
下の資料を参照して下さい。

事例 13mm口径 2か月で1820円の免除
20mm口径 2か月で2560円の免除
消費税は、料金が0円となり計算されません。

◆下水道使用料金には影響ありません。

◆日本共産党議員団では、物価が急激に上がっている中、暮らしを支援するため、水道の基本料金を免除すべきと、代表質問や一般質問で求めて来ました。質問の時点では「実施しない」「総合的に検討」との答弁でしたが、議会最終日に補正予算（第5号）に、引き下げ予算が計上され実施となりました。

◆同一議会の中で「検討」と、答弁されたものが、予算計上されたのはめずらしいことです。

スピード感を持っての予算措置を評価するとともに、議会の質問には「丁寧で真摯な答弁が求められる」ことも指摘しました。

検針票に
「免除しています」
と記載されます。

内消費税等相当額	2,296円
口座振替予定日	令和2年10月8日
新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援として、水道の基本料金を免除しています。	
お問合せはお客室番号で	
連絡先 〒340-0295 久喜市警宮6丁目1番1号	
久喜市上下水道部上下水道経営課 TEL 0480-58-1111	
久喜市 水道料金	口座振替領収書
下水道使用料金	農業集落排水使用料金
検針年月	令和2年7月

一般質問の続報です！がんばりました！



石田としはる

久喜市栗橋東5-7-21



杉野おさむ

久喜市桜田3丁目7-1・504



渡辺まさよし

久喜市所久喜705-3

大規模水害避難訓練の実施を

問 バスによる避難訓練、今年は何か所で実施予定か。

答 サイレンを鳴らし、栗橋南小学校と東鷲宮小学校の2か所で実施する。

問 バスによる避難訓練は該当する「★1つ」の場所7か所で実施すべき。

答 今回の訓練を踏まえて考えていく。

問 支援が必要な方、車椅子利用の方の非難は。

答 訓練に参加いただける方がいれば実施したい。

問 菖蒲に設置する「道の駅」には避難場所を併設する。栗橋・鷲宮地区からの広域避難場所とし位置づけるべきでは。

答 風水害の防災機能を備え、栗橋・鷲宮の広域避難先の一つ。規模は今後検討。

栗橋駅東口駅前開発に伴うアンケートの結果は

問 アンケートの対象世帯は

答 駅前の重点地区内の方

問 対象世帯、回収件数は

答 223名中71件(4/5現在)

問 今後のスケジュールは

答 令和4年から5年度にかけ重点地区全体の事業費や

スケジュール等を含めた基本構想の作成を進める。

問 これまで開発計画を立て

たが頓挫してきた。関係者の方々は、不信感もあるのでは。どのように受け止め、発信していくのか。

答 駅東側には住宅や店舗があり、合意形成が難しかった。今後は地元協議会と連携し、地権者や関係者に丁寧に説明し理解を得ていく

問 駅前広場と都市計画道路は確定しているのか。

答 確定している。区画整理の範囲は、重点区域と一致するものではない。

問 区画整理が終了した伊坂地域に住所表示プレートを公費で作成し配布すべき

答 規則正しく整理された土地の地番を住所としており、配布は考えていない。

問 男性トイレの個室に汚物を入れるサニタリーボックスの設置を求める

答 尿漏れパッドを使用されている方が不便をきたしている。公共施設を利用するすべての方が快適に利用できるよう早期に設置する。

住宅リフォーム助成制度、商店リニューアル助成制度の早期創設を

問 全国各地で少ない投資で大きな経済効果を上げている制度である。コロナ禍の中でこそ支援すべきでは。

答 耐震化補助事業や、省エネシステム導入などで補助をしているので、リフォーム全体の制度は考えていない。

問 経済効果は事実としてあるが検証はしたのか。地元の経済にも貢献する事業だが。

答 調査はしてきた。県内で制度を実施している市町村は、全63市町村のうち、35市町である。(すでに過半数越え) 経済効果は特定の業種に限られる。実施は考えてない。

要望…投資が地域に循環する効率の良い制度。早期導入を

桜田イオン閉店後の

買い物弱者対策を

問 株式会社カスミとの合意や、生鮮食品の現地での販売に公的支援が必要だがどうか

答 一つは「移動販売」の可能性を協議しているところだ。2点目には、生鮮品などの「仮設店舗」は現状では困難だと聞いている。

問 コミ協、行政区、また地元有志などで買い物弱者対策に向けて、自主的に動いている。市としても可能な限り支援を進めていただきたい。

答 移動販売などについて、販売する場所やスペースなどの相談があれば、市としても協力をしていきたい。価格などの詳細については、これから詰めていく。

性的少数者・LGBTQの市民に人権施策の拡充を

問 誰もが自分らしく生きることができる社会は、当事者にとっても生きる希望だ。埼玉県でも35の市町で制度が施行されている。人口のカバー率は66、7%だ。多様な性に関する職員のハンドブックは重要だ。これに準ずる業務上の細則はあるのか。また、見直し・改訂は、当事者と協議して進めるべきだが。

答 現状のハンドブックの活用で対応できている。

問 ファミリーシップ制度(同居する同性カップルの子どもや、親にも対応する制度)、「都市間連携」も重要課題だ。答 意見を聞く。

子ども医療費の無償化18歳まで拡大へ

日本共産党久喜市議団は、これまで子ども医療費無償化の拡大を要求し続け、現在15歳までになっています。

その後18歳(高校卒業)までの拡大を要求してきました。今議会、市長は所信表明で18歳までの無償化拡大を表明しました。日本共産党の公約が実現しました。

今年度から、久喜市外の医療機関でも窓口負担がなくなったことを含め、本当に大きな前進です。今後国保税に課せられているペナルティを無くすことや、全国統一の年齢引き上げの要求を頑張ります。

菖蒲城址あやめ園の回復をすべき

問 昨年の菖蒲あやめ・ハナショウブの開花が悪く、除草も指摘を受けていたのに、今年にはさらにひどい現状で、休耕中になってしまっている。管理をしっかりして回復させ、久喜市の観光資源とすべきではないか。

問 高齢者や交通不便地域に住んでいらっしゃる方の願いは、通行区域を広げて欲しいことと、予約が取れるように増便して欲しい事です。老後も安心の久喜市に改善すべきではないか。

答 公共交通の構築を目指す必要があると認識している。

答 これまで職員1名シルバー作業員3名を基本として、除草や肥料入れなど取り組んできた。しかし圃場の土が痩せ株の回復が困難であった。今後は株をいったん取り出し別で育て、土壌改善を図っていききたい。

問 連作障害もある。昨年土の掘り返し、植え替えなどしてこなかったのか。予算がかかってブルーフェステイバルを盛り上げるべきです。専門家、ボランティアも含め大勢でかわるべきでは。

答 大切な観光資源です。いろいろな方と連携し、危機感を持って花を咲かせることに専念したい。

公共交通は交通弱者を救う施策へ改善すべき

問 高齢者や交通不便地域に住んでいらっしゃる方の願いは、通行区域を広げて欲しいことと、予約が取れるように増便して欲しい事です。老後も安心の久喜市に改善すべきではないか。

答 公共交通の構築を目指す必要があると認識している。